

## 追加取得「床の大臣認定」について

### 平成 22 年 8 月取得（天井被覆材 21+21、梁下直張り）

#### 構造方法等の名称

- 断熱材有の認定 グラスウール充てん / 強化せっこうボード重上張・木質系ボード上張 / 強化  
せっこうボード重下張 / 木製軸組造床
- 断熱材無の認定 強化せっこうボード重上張・木質系ボード上張 / 強化せっこうボード重下張  
/ 木製軸組造床

断熱材の有無により、大臣認定が分かります。断熱材有りで使用できる断熱材は、グラスウール 32K 以下、120mm 以下です（これまでの認定より断熱性能が上がっています）。

天井は、強化せっこうボード 21mm + 21mm の 2 重張り、目地をずらすことなどについてはこれまでと同様です。梁下端に直張りが可能となります。もちろん梁成の違いにより、梁下端に空間があるものも可能です。

床面は、木質系ボード 24mm 以上の床下地板の上に、強化せっこうボード 21mm + 21mm の 2 重張り、目地をずらすことなどについてはこれまでと同様です。また、梁の上に根太を乗せて床下地板を梁から浮かすことも出来るようになりました。

使用する材料やそれぞれの最低断面寸法、留付材や留付方法、及び目地処理等は、各認定の別添をご参照ください。

設計マニュアル、標準詳細図、標準仕様書及び工事自主検査チェックリストは現状未整備ですので、使用大臣認定表等への追記も含め、必要な添削は利用される方が漏れがないよう注意してご使用ください。

### 平成 23 年 1 月取得（天井被覆材 21+15、梁下空き 45mm 以上）

#### 構造方法等の名称

- 断熱材有の認定 グラスウール充てん / 強化せっこうボード重・木質系ボード上張 / 強化せっ  
こうボード重下張 / 木製軸組造床
- 断熱材無の認定 強化せっこうボード重・木質系ボード上張 / 強化せっこうボード重下張 / 木  
製軸組造床

断熱材の有無により、大臣認定が分かります。断熱材有りで使用できる断熱材は、グラスウール 10K 以下、100mm 以下です。

天井は、強化せっこうボード 21mm + 15mm の 2 重張り、目地をずらすことなどについてはこれまでと同様です。強化せっこうボード 15mm はこれまでと違ってガラス網入りでなくてもよくなりました。梁下端の空きが 45mm 以上で可能となります。もちろん梁成の違いにより、梁下端にさらに空間があるものも可能です。

床面は、木質系ボード 24mm 以上の床下地板の上に、強化せっこうボード 21mm + 21mm の 2 重張り、目地をずらすことなどについてはこれまでと同様です。また、梁の上に根太を乗せて床下地板を梁から浮かすことも出来るようになりました。

使用する材料やそれぞれの最低断面寸法、留付材や留付方法、及び目地処理等は、各認定の別添をご参照ください。

設計マニュアル、標準詳細図、標準仕様書及び工事自主検査チェックリストは現状未整備ですので、使用大臣認定表等への追記も含め、必要な添削は利用される方が漏れがないよう注意してご使用ください。